

沖縄・ソデイカ操業の

金城満三さん



金城さん

「たが自由好きで、使えぬ真水を船に積んで行けないことだった。最も大事な飲み水のほかに炊事、食器洗い、洗濯、体洗いなどに真水が必要になるが、気をつけな

「これまでは持って行った真水を、船上ではチビチビ使っていたが、海水淡水化装置を取り付けたことで心配することなく自由に使えるようになった。本当に助かっている」。

沖縄県糸満漁港を基地にソデイカやマクロを追っている漁業者・金城満三さん(64)は表情を緩める。

金城さんは現在、漁船・テレサ号(7・3ジ)

で沖縄周辺海域で操業している。船名は恵まれな

人々への献身的活動に生涯をさげたカトリック教会の修道女マザー・

テレサのような思いやりのある、優しい人間にな

ってほしいとの思いを込めて娘さんを「金城テレサ」と名付け、その名前

を船名にしたという。

出漁すると一週間前後、魚を追いつけること

になるが、いちばん困っ

「船上で真水が安定確保できて助かる」

簡易海水淡水化装置を導入

らチビチビ使うことになり、不自由。

そこで目を付けたのがワイズグローバルビジョ

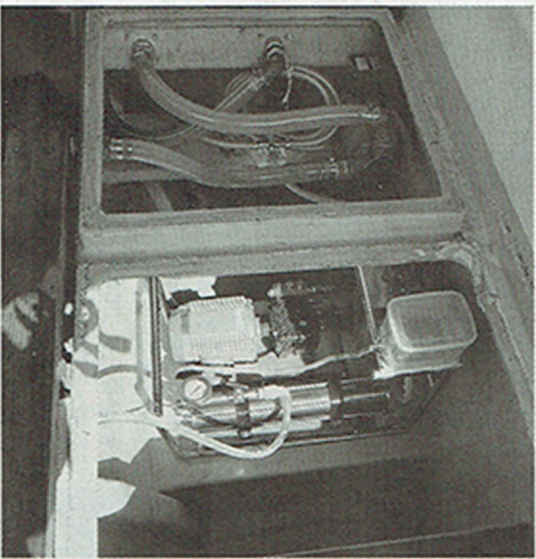
ンが開発した小型で設置スペースを取らず操作も

簡単な海水淡水化装置。設置費用の負担もこれほ

ど大きくない点も評価し

て導入した。

現在、ソデイカは盛漁



期、ピストン操業を行っ

ているが金城さんは「真水を心配なうさんだんに使えなくなりました。必要になれば装置を1-3時間駆動させれば真水をタンクにためることができるので安心ですよ」と導入効果を評価する。船の後方に装置を据え付けているが、船のバランスを取るのにも有効という。操業時に何かのアクシデントが起きた場合も、真水が確保できるのは大きな助けになる。

通常、たぐさんの真水を積んで行けない漁船は水がなくなったり、少なくなると漁を中断して近くの港まで船を走らせ補給することになる。この間は操業ロス(時間、油代など)となり、経営上もマイナスとなる。淡水化装置を搭載しておくことで、これも解消できる

としている。

ワイズグローバルビジョンの大嶺敦史営業部長は「当社の海水淡水化装置が操業や経営上でプラスになっていることをうれしく思う。大いに活用していただき、さらに効果を挙げていただきたい」

船上に据え付けられた海水淡水化装置
「い」と期待する。金城さんは「操業日数の長い船ほど効果があるだろう」と語っている。

▽ワイズグローバルビジョン(株) 東京本社・東京都渋谷区渋谷1-7-5、青山セブンハイツ1006、03-6471-3697

沖縄本社・沖縄県うるま市勝連南原5-19-2、098-9923

11432、FAX 098-9923-1872



ソデイカ操業中のテレサ号

ワイズグローバルビジョン(株)